

アイヌモシリータ

人間界の

トミサンペーチ

トミサンペチは

ウ シヌタプカータ

シヌタプカに

マッカーチ シーネブ

女の子ひとり

ヘカーチ シーネブ

男の子ひとり

アホーツパ アーワ

残してきて

ウポーイヤウンペ

（その）ポイヤウンペ

セコーンレコローベ

という名の者が

シカームイネーレ

神の様に

シピートネーレ

大層立派になり

ウコロシレートク

その美貌や

ウコンラメトク

剛胆さは

カムーイ オロ パークノ

神界までも

エアースル ウーアシ

噂に聞こえる

チクワツカータ

したたった滴が

ウーカム カ オーシマ

首筋に落ちたように

アエキーサシケ ヤークネ

ひやりとすれば

アニー コネソーパー

それですくみ

カムーイ アポーホ

神界の我が子の

アスール イーサム

名声はない

カムーイ アポーホ

神界の我が子の

シアースラーシテ

名声をあげて

キ ワー ネ ヤークネ

そうしたならば

アヤーイコトムーカ

相応になる

アナーツキ コローカ

しかしながら

アイヌ アポーホ
ウーウェン カスーノ
アスール ユープケ
キ ハーウェ アンー ナ
ランマ ライケ ワー エク
イコロパレー ヤン
セコロ イタク ワ クース
トミーサンペーチ
ウシヌータプカー
アオラン クース
ウーラナン コローカ
シンキアンマ クース
タパーン ヌシケー タ
ヌプーリ クルカ
アオオーソルーシ
ウヤイシニーレ
アキー ワ オーラ
アコーシレーパ
ウコーイキ クーニブ
アネー ワ クース
アイェーハウエーネ
セコーロカイーペ
シノチャオロオーイエ
イヌー ネ コローカ
ウェンキンラー フミ

人間界の我が子は
あまりにも
名声が高い
ということだ
地上に降りて殺してこい
そうしておくれ
と（両親）がいうので
トミサンペチは
シヌタプカ
へ降りようと
天降ったのだが
疲れたので
この場所で
山の上に
腰を下ろし
休息を
とって、それから
シヌタプカにたどり着いた
戦いに来た者
で私はあるので
かく言うのだ
ということを
歌にして語った
ただ聞いていただけだが
狂おしい気持ちが

イコーホプーニ	沸き起こってきた
アヌーン クシナムーネ	他人であればこそ
イコーイキ クーニ	私を攻めようと
イラーイケ クーニ	私を殺そうと
イエ ワー ネ クール	言った（と思った）者が
オローヤチーキ	はからずも
オナー ネ マーヌブ	父と言うもの
ウヌー ネ マーヌブ	母と言うものが
アコロ アーアニーケ	私にもあって
イローンヌ ルースイ	私を殺したくて
ウキー ハウエ ネー ナ	いるというのだ

出典：萱野茂（監修・解説）、小野まさあき（構成）「ユカラ（英雄叙事詩）」

『熊送り（イヨマンテ）神と二風谷アイヌの語らい』キングレコード株式会社（1978）
（レコード）